

潮流



2013
3月号
No.230

大津島(平成25年2月1日現在)
人口 368人(男159人 女209人)
高齢化率 70.6%

題字 安達 照子

島母さんのお料理教室

カルシウムたっぷり 大学芋のスキムミルクかけ

誰でもかんたん…ホクホクよ♪



【材料】

さつまいも…50g 砂糖…大さじ1 水…大さじ1
揚げ油…適量 スキムミルク…大1/2

【作り方】

- ① さつまいもはきれいに洗って、食べやすい大きさの乱切りにし、水にさらして、あく抜きをする。
- ② ①の水気を拭き取り、中温の揚げ油で揚げる。
- ③ 鍋に砂糖・水を入れ火にかけ、煮詰める。
(少し箸に付けて、糸を引くくらい煮詰めてください)
うすい茶色になったところで火を止め、②のさつまいもを入れ、手早く混ぜる。
- ④ 少し冷まして、スキムミルクをふり入れ、まぶす。

ふるさと 大津島の元旦



馬島・柳浦 葛原神社



近江 巖嶋神社



天浦 天ヶ浦大明神



瀬戸浜 瀬戸浜神社



刈尾 巖島神社



本浦 木原神社

三月三日の桃の節句には、大きな段飾りから小さな紙雛まで、目を楽しませてくれます。幼い頃が懐かしいですね。

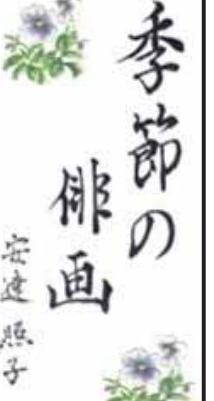


紙雛

日脚が長く生命の活動が盛んになる春は、心もやわらいで、身体もウキウキして来ます。



椿と蠟梅



海 の街道・四 【菅原道真】



文=末兼 正純

西暦九〇一年の早春、菅原道真公が海の街道を下って行った。大津島を見つめる秀麗な眉目に憂色が濃い。藤原時平の策謀で、太宰府に左遷される旅であった。道真公は防府の勝間の浦に上陸し、暫し滞在する。今の山陽本線通り、当時は白砂青松の海岸であった。浦の人々の暖かい歓待と美しい景色に、傷心を癒やされた道真公は「身は筑紫に果つるとも、魂魄は必ずこの地に降り来たらん」と言い残して再び旅路につく。その二年後、道真公は太宰府で不遇のうちに五九歳の生涯を終える。

翌年、防府の人たちは、道真公の魂魄を迎えるため、勝間の浦に松崎の社を建立する。防府天満宮である。一万数千あるとされる他の天満宮の由来はどうか。

道真公の没後、約四〇年間にわたって災厄が続いた。敵対した公家たちが次々と不審な死に方をし、皇太子が二人相次いで幼くして亡くなり、天候不順が続いて洪水や干ばつが頻繁に起き、巷では疫病が流行った。

災厄は菅原道真の祟りとされ、それを免れようと九四七年に京都の北野天満宮が勅命により創建された。太宰府を除く他の天満宮は北野の末社である。純粹に菅原道真公を慕う気持ちから創建されたのは防府天満宮のみである。この社にこそ公の魂魄は安住されているのではあるまいか。

ふるさと



文＝渡邊あゆ子
漫画家 穂実あゆこ
代表作 「あゆこのサスペンス劇場」
馬島在住

それは私の、この大津島
に対するイメージが一変
した瞬間でした。

私が島を出たのは十八
歳の時です。

以来、私にとっての大津
島は、「故郷」「思い出の場
所」になりました。

時々帰省するたびに、
島の過疎化が進んでいるこ
とが気にはなっていました
が、私の島に対するイメー
ジは変わりませんでした。

そして昨年。三十七年
ぶりに島に帰り暮らすこ
とになった私は、初めて「ポ
テトマラソン」にポランティ
アとして参加したのです。

その日は朝から寒く、
小雨の降る悪天候だったに
もかわらず、老若男女
たくさんランナーたち
が、警備の私の前を駆け
抜けてゆきました。

知っちょるかね
文＝松本 千恵子



昭和30年頃の天浦

「うるさあ」ちゅう名、誰
か知っちょる？

昭和三十年代、瀬戸内
の島々を巡る行商の船が
あって、その内の一艘に「う
ろさあ」の船があった。月に
二、三回この島にも、干
物、豆腐、油揚げ、平天、
こんにやく、もやし、よう
かん、バナナ形のまんじゅ
う、生菓子、まれに油紙に
包んだひと握りの肉、化粧
品、ホウキ、七輪などの簡
単な日用品を積んでやって
来たものいね。

押し強いおじさんで
ね、どのお国訛りか、「買
え」というところを「売る」と
言うのいね。次から次に品
物を差し出しちゃあ「これ
売るか、これ売るか」と押
し売る。で、誰言うともな



昭和30年頃の馬島
まだ新しい波止ではなく、波止内
でアサリが掘れる時代の写真

どの人も心から楽しむ
姿がそこにありました。
その光景は、この島が
新しい未来の可能性に
向かって駆け抜けよう
としている、そんな姿にも
私には見えたのです。
ここでやって行けるだ
ろうか、戻った当初はそ
んな不安もありました
が、未来への力を私もも
らえたような気がしま
した。
今は、この島のため
に、私に何が出来るだ
ろうかと模索する日々で
す。
それにしても、「イモ
汁」はおいしかったなあ。
当日、ランナーやボラ
ンティアの方々の心を癒
したのは、あたたかくて
おいしい、「ふるさと
心」だったのかもしれま
せん。

「これ売ろかのうるさ
あ」。
さて、「うるさあ」の来
る日、女と子供らあは、
豆腐を入れるナベと買い
物カゴを持って、小さな
波止場で待ついね。今の
ようにいっぱい買物はせん
かったね。
「うるさあ」がなんぼう
「これ売ろか」ちゅうて
も、必要な物だけ買っ
て、たまに子供のために
アメ玉や、バナナまんじゅ
うを買う。それが、たい
そう楽しみじやったねえ。
今と違って、物が充分で
はない時代、芝居の一
座、鑄掛屋、瀬戸物屋、
映画、みな船で来たもの
いね。

～事務局からのお知らせ～

市嘱託職員募集（大津島ふれあいセンター）

大津島ふれあいセンターでは4月より料金改定を
始めとした管理運営体制の見直しを予定してい
ます。利用者サービスの向上を目指し、現場の責
任者として働いて下さる方を募集します。

- 【募集内容】
●勤務場所：大津島ふれあいセンター
●業務内容：管理運営業務
※使用の許可に関する業務や維持管理に
関する業務など
●対象：大津島に在住の方
●定員：1人
●雇用期間：4月1日～平成26年3月31日
●勤務日数：月15日
●勤務時間：8時30分～17時15分
●報酬：月額103,100円（雇用保険あり）
●選考方法：面接
※日時については後日お知らせします。
●申込み：3月6日（水）までに履歴書を大津島支所、
又は周南市中山間地域振興課に提出してく
ださい。
●問合せ先：周南市中山間地域振興課（Tel 34-3572）

編集後記

大津島で、オニドコロに続いて2つ目のオニを発見！柳
浦に、とんがったマスカットのような実がありました。
美味しそうだけど、口に入れる前に調べてみたら、リス
の食料になるとのこと。その植物の名前は、オニグルミ。
野性の胡桃を一般的にそう呼ぶそうです。春の木々に目
をこらして、歩いてみましょう。

六郎万淳一

移動図書館<やまびこ号 Jr.>

- 3月22日（金） 4月24日（水）
●瀬戸浜自治会館 10：40～10：50
●大津島郵便局前 11：10～11：30
●馬島巡航待合所 13：00～13：30
●刈尾巡航待合所 13：50～14：10

旅立ち～卒業式が行われます～

- 大津島中学校 体育館にて
●3月9日（土）9：40～10：40
問合せ先：大津島中学校（Tel 85-2003）

花見 ～大津島桜祭り&老人クラブ交流会～

- 大津島中学校グラウンドにて
●4月6日（土）※雨天の場合は中止です
問合せ先：大津島支所（Tel 85-2001）

大津島地区社会福祉協議会よりお礼
平成24年度善意銀行へのご寄付について

- 預託者 河嶋 裕子 様
亡夫 河嶋 好彦 様の香典返しとして
金5万円（市社協10,000円 大津島社協40,000円）
●預託者 安達 重治 様
亡母 安達 豊子 様の香典返しとして
金10万円（市社協100,000円）
●預託者 河野 博 様
亡母 河野 ヒナ子 様の香典返しとして
金7万円（市社協14,000円 大津島社協56,000円）
●預託者 石丸 適 様
亡妻 石丸 ミナ子 様の香典返しとして
金10万円（市社協20,000円 大津島社協80,000円）

ありがとうございました。

ひろしのつぶやき

文＝屋野 廣志



写真：安達勲さん

大津島で昭和二十〇三十
年頃を知る人ならば、この言
葉に記憶がある。「ソレガド
オトイテ、コオトイテ。」

現コミュニティ会長の安
達壽富さんの尊父で、通称が
イサーマー【安達勲（あだち
いさお）と云われ、随分な
博学者で、地区の相談役・世
話役として誰もが尊敬し、慕
っていた。

当時、私は子供でその尊顔
は思い出す事は出来ぬが、そ
の言葉は今も鮮やかに思い
出し、口にする事もある。
「ソレガドオトイテ」と言う
のは、現在の大河ドラマ「八
重の桜」に出てくる「ナラヌ
事はナラヌ」と言う会津の言
葉をやさしく表現したもの
ではないかと思う。

「上の田の者が水を止め
て、下の方にや来んのじゃ
いの、イサーマー、一寸と
云うてくれまいの」「ソレガ
ドオトイテ、コオトイテ、
水を止められたら下の者が
困らーの」「イサーマー、
上の田の者に云うてくれま
したので」「ソレガドオトイ
テ、コオトイテ、下の田の
事を考えてくれにゃの」と
とひたすら降雨を神様に願
い、夕立を待ち、お互いの
自覚を待ち望み、時の来る
のを待ち、敵もつくらず、
味方もつくらず「ソレガド
オトイテ、コオトイテ」

一昨年より大津島に島お
こし隊として若者が駐在
し、なんとかして元気な島
にしたいと頑張っているが
「ソレガドオトイテ、コウ
トイテ」これだけの高齢化
した島民には、優しい励ま
しの言葉くらいにしか伝わ
って来ない。事を謀るは人
に在り、事を成すには天に
在りと云うけど、地の利な
き所には、お互いの和こそ
大事とつぶやいてみる。

周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページでも、「潮流」をご覧になれます。
http://gokan-furusato.org/community/community.html

島内の行事予定

- 二十六夜
3月7日（馬島）
春まつり
3月14日（本浦）

お大師
4月30日

- 馬島 / 相撲をとります。
柳浦 / お接待を出します。
刈尾 / お接待を出します。
本浦 / 石風呂を焚きます。

観音様
4月27日(天浦)

春の大津島は、イベント盛りだくさん！！

島おこし隊員 ブログ更新中！！
http://i-8996-ozsima.jugem.jp/